

2012年7月3日

## 消費税増税に反対する請願書

岩手県議会

議長 佐々木 博 様

### 《請願者》

団体名 岩手県消費者団体連絡協議会  
住所 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3  
代表者名 会長 高橋克公

団体名 岩手県生活協同組合連合会  
住所 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3  
代表者名 会長理事 加藤善正

団体名 いわて生活協同組合  
住所 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3  
代表者名 理事長 飯塚明彦

団体名 岩手県学校生活協同組合  
住所 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3  
代表者名 理事長 豊巻浩也

### 《紹介議員》

# 消費税増税に反対する請願書

## 【請願趣旨】

消費税法案が6月26日に衆議院を通過しました。国民から見ると徹底した国会論議もなく、国民の大変な生活実態を分析することもなく、三党のみが集まって合意し、数の力で強行したように見えます。このような異常な決め方に、私たちは怒りを覚え、とても納得することができません。

私たちの暮らしを取り巻く状況は、震災後ますます厳しくなっています。「正規の仕事が見つからない」と必死に探す若者を抱える世帯や「収入が増えないのに、子どもたちにお金がかかってやりくりが大変」と嘆く子育て世代、「今の年金でもやっとの生活なのに年々減り続ける年金に生きる気力をなくした」と力を落とす高齢者など、どの年代も将来不安も抱えながら、お金を使わないように節約した生活しています。

また、被災地や被災者はもっと大変です。義援金や生活支援の援助金も「これからの生活を考えると使えない」、「雇用保険が切れても次の仕事の見途がたたない」「お金が足りなくて、お店を（生業）再開できない」など必死の生活が続いています。これから自宅を再建する人も公営住宅に入る人も「いろいろなものを買って揃えなければいけない時に、消費税増税は納得できない」と怒っています。

こんな状況のときに、社会保障の内容を現行より切り下げ、現行5%の消費税を2014年4月に8%に、翌年10月に10%に引き上げる内容になっています。これでは国民は二重に負担を強いられ、先行き不安がさらに増すこととなります。

もともと消費税は「収入の低い人ほど負担が重い」不公平な税金で、税率が上がれば上がるほど弱者の負担が増し、格差と貧困をさらに広げることになります。

東日本大震災によって未曾有の被害を受け、さらに消費が落ち込んでいるときの消費税増税は、ますます経済を冷え込ませると、専門家は警鐘を鳴らしています。

以上のことから、政府には被災地を含めた国民の生活の実態を把握し、消費税増税ではなく、国民が安心して暮らしていける政策を求めます。そのために、徹底して財政の無駄を省き、国の基礎になる歳入・歳出のあり方や税金の応能負担についても時間をかけた論議を要望します。拙速に消費税増税に財源を求める政策には断固反対です。

貴議会として、以下のことについて国に意見書の提出をお願いします。

- 一、東日本大震災・福島第一原発事故の被害者の復旧と復興、国民の生活実態を考慮し、消費税増税をやめること。